

第 17 回移動支援分科会開催報告

20.12.14

分科会主査 八木英樹

開催日時	12月11日(金) 14:00~15:15
参加者	Zoom : 6名 町内会館(対面) : 5名
配布資料	・浜松市佐久間地区 MaaS 実証実験の見学報告 ・鎌倉市の交通問題に関する対応 ・休憩用ベンチ設置についての現況 ・休憩用ベンチ設置場所提供のお願い(回覧用資料)

1. 浜松市佐久間地区 MaaS 実証実験の見学報告

資料に基づき、八木から報告した。

- ① システム(TIS、クレメンテック担当)は使い勝手良好。車両2台で運用、内1台はEV。
- ② サービスエリアはJR飯山線と天竜川沿いに点在する集落、駆け付け&空走時間が大。
- ③ 高齢者の移動支援の観点から、市は半額補助の見込み。メガソーラーでEVを充電する仕組みは、SDGs 未来都市を標榜する浜松市に有意義。NPO タクシーの後継として事業化の可能性あると思われる。

2. 交通問題に関わる鎌倉市の考え

資料に基づき、八木から報告した。

- ① バス事業者は採算性と慢性的な運転手不足で増便、新規路線開設に慎重。交通事業者依存は限界があり、共助・互助などの様々な手法の活用が不可欠。
- ② MONET Technologies(株)の協力を得て、オンデマンドのモビリティサービスの実証実験計画(第1弾は二階堂・浄明寺地区)。各地区の要望を踏まえ、全市展開できる持続可能な仕組みを構築。
- ③ 高齢者の外出支援策として、社会福祉法人の車両を活用した地域貢献送迎バスモデル事業を、令和元年4月から実施。現在3か所で運用中。
- ④ 大平山丸山町内会は先進的なコミュニティと評価。深沢地区の再開発と丘陵地住宅地における交通問題への取組みから、MaaSを含め先進的サービスの実証実験を行う場合、有力候補地と考える。

3. 高齢者の散歩を支えるための休憩箇所(ベンチ設置)整備について

町内会) 松本副会長から、資料に基づき、現在の取り組み状況を報告いただいた。

- ① バス通りの歩道に設ける案: 大平山公園バス停付近につき市・公園課に調査依頼中。
- ② 空いている個人宅の駐車場を提供いただけないか、12月13日の回覧で訴求する。
- ③ 今後、どのようなベンチ、椅子が適切か、どこに置いて欲しいか、白扇会その他の意見を聴き、具体案を詰める。

以上